

2024年3月31日

自己点検・自己評価項目

東方国際日本語学校

校長 東方 恵子

各項目の評価方法は、5段階評価（5から1）としている。

- 5:達成されている。
- 4:ほぼ達成されている。
- 3:どちらともいえない
- 2:取り組みを検討中
- 1:改善が必要

1 教育理念・目標等

1-1 理念・目標は定められているか

段階評価

【 5 】

1-2 学校の特徴は何か

【 5 】

1-3 理念に基づく教育が行われているか

【 5 】

(現状・具体的な取り組み/課題)

1-1 建学の理念である「グローバル化に対応できる人材の育成」「多文化共生力の育成」「高いコミュニケーション能力の育成」を図るための実践的な教育を行っている。また、全ての職員が職業倫理を尊重し「誠実」を持って学生指導にあたり学生、社会等からの信頼を得ることを学校の組織目標としている。

1-2 特色

熊本県内唯一の日本語学校として、教育のすべてを日本語教育と連動

特に、定員60人という少数精鋭であり、このメリットを生かし同一レベルでも習熟度に応じた指導を行うなど、学生が効率よく学べるよう工夫を凝らした指導に努めている。

1-3 理念に基づく教育

国際的な視野を持ち国際社会で活躍できる人材の育成を目指し、教育理念と教育目標に基づく指導を推進している。

2 学校運営

- | | |
|---|-------|
| 2-1 運営方針は定められているか | 【 5 】 |
| 2-2 事業計画は定められているか | 【 5 】 |
| 2-3 運営組織や意思決定機能は確立され、効率的なものになっているか | 【 5 】 |
| 2-4 人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか | 【 5 】 |
| 2-5 情報システム化等による業務の効率化が図られているか | 【 5 】 |
| 2-6 効率的な学校運営の維持・向上を図るための機能は整備されているか | 【 5 】 |
| 2-7 危機管理体制は整備されているか | 【 5 】 |
| 2-8 施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるよう学校教育法に基づき整備されているか | 【 5 】 |

(現状・具体的な取り組み/課題)

- | |
|--|
| <p>2-1 運営方針は、事務局で検討し全体会議で決定している。</p> <p>2-2 事業計画についても同様に全体会議で決定している。</p> <p>2-3 校長を中心とした運営組織や意思決定機能は確立している。</p> <p>2-4 職務内容に沿った個々の目標を設定し、達成度に応じ人事や処遇の改善を行うとともに、職場環境の改善を図ることとしている。</p> <p>2-5 学生管理システム等の職務分掌の見える化を徹底し無駄のない効率の良い業務運営に努めている。</p> <p>2-6 効率的な学校運営確立のため随時対策会議を行っている。</p> <p>2-7 危機管理の一環として職員及び学生の連絡系統表を作成し、地域の消防署、警察署と共に防災事故防止と連携し、大規模災害（震災、台風等）発生時に備えている。</p> <p>2-8 コロナ感染症対策で、学生の体温の監視や教育環境を衛生的に維持するために換気を行い、またスタッフも学内拭き掃除などは継続している。学校教育法及び日本語教育機関のガイドラインを遵守した施設・設備の整備に努めている。</p> |
|--|

3 教育活動

- 3-1 カリキュラムは体系的に編成されているか [5]
- 3-2 教育機関として授業評価・評価体制・学生が到達すべき日本語能力の目標は明示されているか [5]
- 3-3 成績評価や進級、修了の判定基準は明確となっているか 適切に運用されているか [5]
- 3-4 目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか [5]
- 3-5 各種日本語試験の認定率向上のための指導体制は整っているか [5]

(現状・具体的な取り組み/課題)

- 3-1 日本語入門から初・中・上級レベルまでの体系的なカリキュラム編成を行っている。
- 3-2 校長や主任教員による評価体制を確立している。また、学生が到達すべき日本語能力目標については、入学時や各種試験結果に応じて目標設定の見直しを行っている。
- 3-3 成績評価及び進級・修了評価は試験結果、出席状況、授業態度等を総合的に勘案し適切に行っている。
- 3-4 学生のレベルと目標を把握しその目標に向けた授業を行うなど、教員の資質は十分備わっている。
- 3-5 主任教員指示のもと個々のレベルに応じた指導を行うなど認定率向上のための指導体制を確立している。

4 学習成果

- 4-1 授業評価体制は適切か、また授業評価は定期的実施しているか [5]
- 4-2 学生の日本語能力の向上が図られているか [5]
- 4-3 学生の進路を適切に把握しているか、また、進路に関する最新の資料が備えられ、閲覧状態にあるか [5]

(現状・具体的な取り組み/課題)

- 4-1 授業評価に関しては、教務主任が授業の評価を吟味し、直接担当教員に情報を開示し、解決策について話し合いを行っている。
学期末校長を長とした全体講師会議で対応策を実施している。
- 4-2 日本語能力の向上を図るため能力ごとのクラス編成を行うとともに、教育内容に応じた教育機器を活用している。
また、能力試験等を積極的に受験するよう指導するとともに、結果に基づき勉強方法の改善指導を行うなど日本語能力の向上を図っている。
- 4-3 学生との面接により進路を把握するとともに、現状に応じた進路指導を行うなど適切に対応している。
また、進路に関する資料については各大学・専門学校などから取り寄せ常に閲覧できるようにしている。

5 学生支援

- 5-1 学生支援計画を策定し、学生に対する学習相談や進路に対する支援体制が整備されているか 【 5 】
- 5-2 生活面における健康管理や日本での生活指導などへの支援体制が整備されているか 【 5 】
- 5-3 防災や緊急時における体制が整備されているか 【 4 】

(現状・具体的な取り組み/課題)

- 5-1 教務担当者と生活指導担当者が連携し、随時学生と個別面接を行い進路指導を行うとともに、アルバイトや生活の現状把握に努めている。
- 5-2 新生児については入学後早期に指定病院での健康診断を行い健康チェックに努めている。
生活指導については、長期休暇前のオリエンテーションに際し指導するとともに、随時寮に赴き実地指導を行っている。
- 5-3 災害等発生時には学校及び職員へ即時連絡ができるよう緊急連絡網を配布するなど学生の防災面への支援体制を確立している。

6 教育環境

- 6-1 校地及び校舎が十分かつ安全に整備されているか 【 5 】
- 6-2 授業が可能な教材や設備、教育用機器が整備されているか 【 5 】
- 6-3 学習効率を高めるための環境整備がなされているか 【 5 】

(現状・具体的な取り組み/課題)

- 6-1 校地・校舎ともに告示基準に則って整備している。
- 6-2 教材はレベルに合わせた教材を選定している。また、各種の教育機器については常に整備することとしている。
- 6-3 学生数に適した教室を使用している。また、図書室等を活用した自習スペースを確保するなど常に勉強できる環境整備に努めている。

7 入学者の募集

段階評価

- 7-1 学生の募集は適切に行われているか 【 5 】
- 7-2 日本語教育機関の情報は正確に伝えられているか 【 5 】
- 7-3 入学選考は適切に行っているか 【 5 】
- 7-4 授業料等は開示しているか 【 5 】

(現状・具体的な取り組み/課題)

- 7-1 年間募集計画を定め、その計画に沿って問題のない学生を受け入れに務めている。
- 7-2 募集要項やパンフレットを派遣先の学校等に送付するとともに、常にホームページを更新し最新の情報を掲載することとしている。
- 7-3 学生の選考にあたっては、募集担当者が現地に赴き留学希望者と直接面接を行い優秀な学生を選考・申請している。
- 7-4 授業料、入学金等の納付金及び学校情報についてはホームページで開示している。

8 財務

- 8-1 財務状況は、中長期的に安定しているか 【 5 】
- 8-2 予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれているか。 【 5 】
- 8-3 財務について適正な会計監査が実施されているか 【 4 】
- 8-4 財務情報の公開の体制はできているか 【 3 】

(現状・具体的な取り組み/課題)

- 8-1 財務状況は安定し中期的にも問題点はみられない。
- 8-2 事業計画の通りに毎月の予算管理を行い、安定的な財務基盤を実現している。
- 8-3 会計監査は税理士により定期的に行うこととしている。
- 8-4 財務情報は毎年公認会計士による監査も行い、一定程度に公開されている。

9 法令遵守

- 9-1 出入国管理及び難民認定法令及び各種関係法令等の遵守と適切な運営なされているか 【 5 】
- 9-2 コンプライアンス意識を高めるための取り組みを行っているか 【 4 】
- 9-3 学生に対する在留関係指導に努めているか 【 5 】
- 9-4 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか 【 4 】
- 9-5 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか 【 5 】
- 9-6 自己点検・自己評価を公開しているか 【 5 】
- 9-7 関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか 【 5 】

(現状・具体的な取り組み/課題)

- 9-1 法務省の設置基準を満たした告示校に認定されており、関係法令及び基準等を遵守した運営に努めている。
- 9-2 コンプライアンス体制を確立するとともに、「コンプライアンス研修資料」を職員に配布するなど法令順守意識の向上に努めている。
- 9-3 在留に関する指導、資格外活動に関する留意事項等について入学時期及び長期休暇前のオリエンテーションに際し指導に努めている。
- 9-4 コンプライアンス研修に際して資料を配布し個人情報保護の周知徹底を図っている。
- 9-5 現在まで自己点検・自己評価について問題点はない。なお、今後も問題点の把握・改善に努めることとしている。
- 9-6 自己点検・自己評価の公開をしている。
- 9-7 報告時期にあわせて遅滞なく実施している。

10 地域貢献・社会貢献

10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか 【 5 】

10-2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか 【 4 】

(現状・具体的な取り組み/課題)

10-1 県内大学の日本語教育課程専攻学生の教育の一環として、本校における授業見学や本校教師との意見交換をさせるなど教育資源や施設を活用した地域貢献に努めている。

10-2 地域との交流についてはいまだ実施に至っていないが、今後は地域との交流や生徒による公園掃除等のボランティア活動について計画していくこととしている。

〈総括〉

2019年4月の学校再開以来5年目を迎え、卒業生が大学や専門学校に進学するなど実績も徐々に積み上げてまいりました。進学先からは「東方国際日本語学校の学生は真面目で優秀である。」旨の評価もいただいております。また、N3、N4はもとよりN2合格者も排出し、現在はN1合格者を排出すべく日本語教育に取り組んでいるところであります。今後にあっても各種法律や規則を遵守し、校長を中心に学生・保護者はもとより進学先ひいては地域から信頼される学校を目指して職員一同尽力してまいります。